



特定機能病院 / 地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター 広報誌

# おいでだより

Take  
free

Osaka International Cancer Institute

季刊

Vol. 005

2022 Winter

## ★ CONTENTS

- 02 オンラインでも、セカンドオピニオンを実施しています
- 03 臨床検査室に関する国際規格「ISO15189」の認定を取得しました
- 03 CAR-T 細胞療法「キムリア®」を導入しました！
- 04 乳がん術後の放射線治療  
女性の診療放射線技師の対応枠が好評です
- 04 スキンケア教室を開催しています！
- 05 北海道と合同舘がん教室を開催しました！
- 06 患者さんの負担が少ない手術、  
胃がんの「単孔式腹腔鏡下胃切除術」を行っています
- 07 公式ホームページ、Facebook で最新情報を取得できます
- 07 【連載】はい、こちら「がん相談支援センター」です
- 08 ご寄付について



# オンラインでも、セカンドオピニオンを実施しています

※令和3年12月時点で7診療科

「セカンドオピニオン」とは、診断や治療選択などについて、現在診療を受けている担当医とは別に、異なる医療機関の医師に「第2の意見」を求めることです。

## ★オンライン・セカンドオピニオンとは？

当センターでは、来院いただく対面方式の面談に加え、オンラインでの面談を実施しています。

『オンライン・セカンドオピニオン』では、『CLINICS (クリニックス)』という専用のアプリを使用してパソコンやスマートフォンから、オンラインにて面談を行います。

※面談には患者さんご本人のご参加が必須です。

※面談時間は30分まで（録画・録音は不可）、CT・MRIなどの画像は画面を共有できません。

## ★対象となる診療科、対象疾患

**消化管内科：**食道・胃・大腸がんの内視鏡治療

食道がんの化学療法とレーザー治療

**血液内科：**白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・

骨髄異形成症候群など

**消化器外科：**食道がん・胃がん・胆管がん・

胆のうがん・肝細胞がん

**呼吸器外科：**肺がん・胸膜中皮腫

**泌尿器科：**前立腺がん・腎細胞がん・尿管がんなど

**脳神経外科：**悪性および良性脳腫瘍

**整形外科：**骨軟部腫瘍（肉腫）・転移性骨腫瘍

## ★お申し込み方法

現在かかっていらっしゃる医療機関にセカンドオピニオンを利用したい旨を伝えていただき、

「大阪国際がんセンター地域医療連携室セカンドオピニオン担当」  
（〒541-8567 大阪府大阪市中央区大手前3-1-69）へ下記書類を郵送するようご依頼ください。

### 必要書類

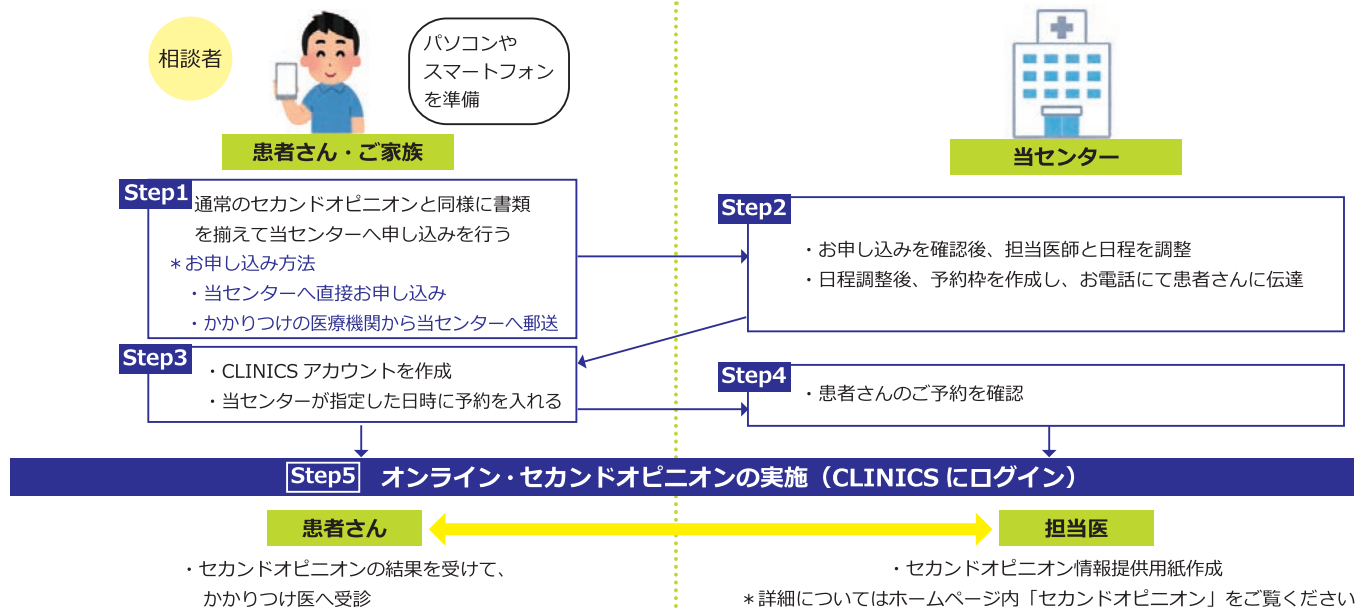
- オンライン・セカンドオピニオン申込書（患者記入用）
- オンライン・セカンドオピニオン申込書（医療機関記入用）
- オンライン・セカンドオピニオン同意書
  - ・ お申し込み者の身分証明証のコピー
  - ・ 診療情報提供書（紹介状）
  - ・ 検査データ（採血データ、画像所見、病理所見、内視鏡所見など）、画像データ
- セカンドオピニオン代理申し込み同意書
  - ※ お申し込み者が患者さんご本人でない場合のみ、必要です。
- 面談者リスト
  - ※ 患者さんご本人以外の方も面談に参加される場合のみ、必要です。

■ ダウンロードおよび詳細についてはこちら➡

<https://oici.jp/hospital/patient/onlinesecound/>



## ★オンライン・セカンドオピニオンの流れ



現在、遠方にお住まいの患者さんや、病状により来院いただくことが困難な患者さんに利用していただいています。今後も、皆さまが納得して医療を受けられるよう、セカンドオピニオンに力を入れてまいります。

## 【お問い合わせ先】

地域医療連携室 セカンドオピニオン担当

☎ 06-6945-1181 (代表)

(月～金曜日 午前9時～午後4時) ※祝日・年末年始を除く

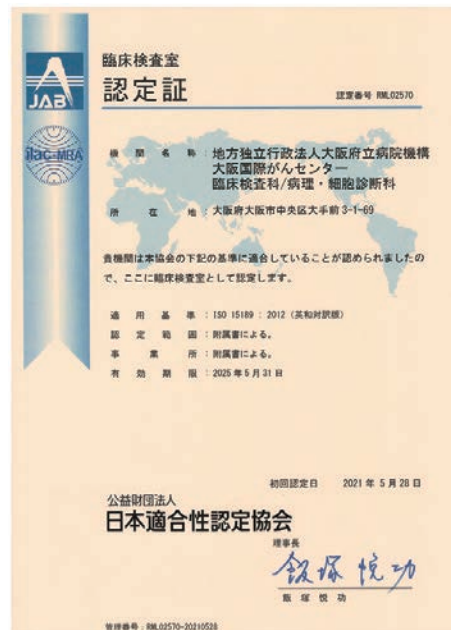
## 臨床検査室に関する国際規格「ISO15189<sup>\*</sup>」の 認定を取得しました

<sup>\*</sup> 臨床検査室の質と能力に関する要求事項

ISO15189 とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）が定めた「臨床検査室の質と能力に関する要求事項」を示す国際規格です。“臨床検査室の技術能力”を決定する手段で、国際規格に基づき審査が行われます。

現在日本では約 250 施設が認定を受けており、国際治験やがんゲノム医療拠点病院の必須条件になっています。当センターでは、臨床検査科および病理・細胞診断科が、2021 年 5 月に認定を取得しました。

これからも認定を継続できるよう、努力してまいります。



## CAR-T 細胞療法「キムリア<sup>®</sup>」を導入しました！

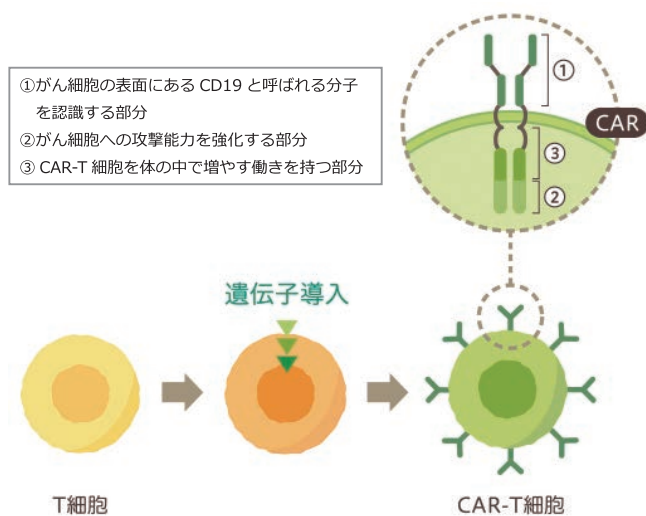
自己の免疫の働きを生かし、がん細胞を攻撃する“免疫チェックポイント阻害剤”<sup>\*1</sup> や、免疫機構をドラッグデリバリーシステム<sup>\*2</sup> として活用する“抗体医薬複合体”<sup>\*3</sup> など、免疫療法が、がん治療の 4 本目の柱とされています。

CAR-T 細胞は、T 細胞を体外に取り出し、遺伝子組み換え技術で抗原を攻撃できるよう改変したもので、以前の治療で治せない難治性がんを治療します。今回導入したキムリア<sup>®</sup> は、難治性の悪性リンパ腫や急性リンパ性白血病に良好な治療成績を示しています。

当センターはワーキンググループを立ち上げ、適切な品質管理のための厳しい監査を通過し、昨年秋より導入を開始しました。

既に施行した 2 件の治療経過は良好で、さらに 3 件の治療を予定しています。非常に高額な治療のため、適切な症例選択と安全・高品質な CAR-T 細胞療法の提供を心掛けます。

- \* 1…がん細胞が、たくみに免疫から逃れて、生き延びようとするのを阻止する薬
- \* 2…体内での薬物分布を制御し薬物の効果を最大限にし、副作用を最小限にする技術
- \* 3…がん細胞を標的とした抗体に抗がん剤を運ばせる薬



ノバルティスファーマ株式会社【患者さん向けおくり情報（キムリアの治療を受けられる方とご家族へ）】より転載

(イメージ図)

## 乳がん術後の放射線治療 女性の診療放射線技師の対応枠が好評です

放射線腫瘍科では2020年10月より、乳がん術後に放射線治療を受ける患者さんに、女性の診療放射線技師が対応する時間枠（午後3～4時）を設けています。

運用から1年で43名の患者さんにこの枠を利用していただきましたが、患者さんからは、「利用してよかった」という好意的な意見が多く寄せられました。

女性の診療放射線技師の対応枠を設定することで、患者さんの羞恥心の軽減につながり、より安心して治療を受けていただけたと考えられます。

当センターは、今後も患者さんに寄り添った治療を行っていきます。



## スキンケア教室を開催しています！

当センターでは、がん治療により皮膚が乾燥することで湿疹やかゆみに悩まされている患者さんやご家族に向けて、気持ちよく過ごしていただくことを目的として『スキンケア教室』を開催しています。

奇数月の金曜日のうち一日、午後2～3時に、患者さんが気軽にできるスキンケアについて実演を交えて紹介しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は7月に開催後中止していましたが、4カ月ぶりに入院患者さん限定にて再開いたしました。

11月4日のスキンケア教室では、活発な質問が飛び交い、大変有意義な時間になりました。

まず、腫瘍皮膚科の医師より「手足症候群について」と題し、抗がん剤に関して、家事など日常生活における注意点や、靴選びについてお話いたしました。続いて、看護師より「保湿ケアの方法、フローズングローブの紹介」と題し、保湿剤の使い方やスキンケアのポイントについて実演を交え解説いたしました。

最後に、当センター利便施設のヘアサロンより「ヘアケアから頭皮ケアについて」と題し、脱毛に関することやシャンプーの仕方について人形を使った実演を交えながら説明いたしました。

次回開催予定の2022年3月18日も、多くの患者さんに参加いただければ幸いです。



## 北海道と合同膵がん教室を開催しました！

肝胆膵内科副部長・膵がん教室代表 池澤 賢治

このたび 2021 年 11 月 20 日に、北海道膵がん教室・パンキャンジャパンの皆さまと、合同膵がん教室を開催いたしました。

当センターの膵がん教室は、2015 年より毎月第三水曜日にセンター内で開催しておりましたが、コロナ禍の影響で、最近では参加者を当センターの入院患者さん限定にしており、参加人数が限られておりました。今回の合同膵がん教室では、入院患者さんの現地参加にオンラインでの視聴を加え、ハイブリッド形式で開催させていただき、北海道の会場と合わせ 200 名を超える多数の方々にご参加いただきました。

教室の内容としましては、総長の松浦からのあいさつの後、膵がんの 3 大治療である内科治療・外科治療・放射線治療について、各領域の専門医師から講演をさせていただきました。まず池澤から膵がんの抗がん剤治療および最新の遺伝子診療についてお話しし、続いて、北海道大学大学院消化器外科学教室 II 中村 透先生から膵がんの外科治療についてお話をさせていただきました。最近のトピックである Conversion Surgery（手術が難しいと考えられていた患者さまが抗がん剤などの治療の結果、手術できるようになること）についても詳しくご説明いただきました。また当センター放射線腫瘍科主任部長の小西からは VMAT\*（強度変調回転照射法）など、より精細に病変に照射するように工夫された最新の放射線治療についてご説明いたしました。

治療に対する講義の後は、理学療法士の加藤がリフレッシュタイムと題してその場でできるストレッチを紹介し、



参加者の皆さまにリラックスしていただきました。その後、副看護師長の大八木・佐藤、管理栄養士の岡崎から、“膵がんと上手な付き合い方”や、“日常生活の注意点や食事を楽しむうえでのコツ”などについて、具体的にアドバイスさせていただきました。会の後半のパネルディスカッションではパンキャンジャパン理事長の眞島様に司会をお願いし、患者さん・ご家族から事前に寄せられた多数のご質問に対して、演者から直接回答させていただきました。

合同膵がん教室開催後の反響としましては、患者さん・ご家族を含めた多数の参加者の皆さまから、“今後の治療について前向きになれた”、“とても勉強になった”、など好評のお声を頂きました。貴重な情報発信の場をつくることができ、開催して本当に良かったと思っております。

当センターの膵がん教室は、たくさんの職種のメンバーが連携して一つのチームとして活動できることが強みと考えております。今後もこの強みを生かして、情報発信の機会をさらに増やしていけたらと考えておりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

\* VMAT…Volumetric Modulated Arc Therapy の略で、回転照射と IMRT（強度変調放射線治療）を組み合わせた照射法です。回転しながら腫瘍の形状に合わせて強弱をつけて照射を行うことで、腫瘍周囲の正常組織の放射線量を低減し腫瘍に高線量を照射することが可能で、IMRT よりも高精度に短時間で照射することができます。

講演	開会あいさつ 大阪国際がんセンター 総長：松浦 成昭
講演1. 膵がんの抗がん剤治療について (10分)	大阪国際がんセンター 膵がん教室代表 肝胆膵内科副部長 膵検診室長：池澤 賢治
講演2. 膵がんの外科治療について (10分)	北海道大学大学院 医学研究院 消化器外科学教室II：中村 透
講演3. 膵がんの放射線治療について (10分)	大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 主任部長：小西 浩司
～ちよっと一息リフレッシュタイム 理学療法士によるストレッチ～ (8分)	大阪国際がんセンター 理学療法士：加藤 祐司
講演4. 膵がんと上手な付き合い方～日常生活の注意点～ (8分)	大阪国際がんセンター 副看護師長：大八木 香奈江・佐藤 みゆき
講演5. 膵がんと上手な付き合い方～食事を楽しむコツ～ (8分)	大阪国際がんセンター 管理栄養士：岡崎 梓
パネルディスカッション Q&A (30分)	
パネラー：すべての登壇者	
モデレーター：パンキャンジャパン理事長 眞島 喜幸	

▲当日のプログラム

## 患者さんの負担が少ない手術、 胃がんの「単孔式腹腔鏡下胃切除術」を行っています

消化器外科胃外科長の大森医師は、胃がんを一つの小さな傷から手術する「単孔式腹腔鏡下胃切除術」にてわが国で最も多い500例を超える手術を行い、これまでよりも患者さんの負担が少ないことを証明し、国際学会雑誌に掲載されました。

### ■ 胃がんの手術

かつては、お腹を大きく切り直接手で手術を行い、麻酔から覚めると切った箇所がしばらく痛み、15 cm程度の傷が一生残りました。やがて、お腹を大きく切らず小さな穴を5～6カ所あけ、管を挿入する「腹腔鏡手術」が開発されました。これは、数cmの傷が数カ所残るだけで術後の痛みも軽減されるので、患者さんの負担が少ないです。

さらに、今回の研究で1カ所のみ穴をあける「単孔式腹腔鏡下胃切除術」が優れた術式であることが分かりました。当センターでは、年間250～300例の胃切除術のうち従来のお腹を切る手術は1割以下になっています。



### ■ 単孔式腹腔鏡下胃切除術

「腹腔鏡手術」は組織を取り出す2.5～3 cmの傷と1～2 cmの数カ所の傷が残るのに対し、「単孔式腹腔鏡下胃切除術」は隠れやすいおへそに2.5～3 cmの穴を1カ所しかあけないため、痛みが少なく美容面でも優れています。大森医師はこの「単孔式腹腔鏡下胃切除術」を2009年より世界に先駆けて行ってきました。

### ■ 胃がんの手術は、当センターへ

500例以上の「単孔式腹腔鏡下胃切除術」の実績がある医師を有する当センターでは、患者さんに安心して手術を受けていただけたらと考えます。また、2018年から日常診療で使用可能になったロボット支援手術を応用し、「単孔式ロボット胃切除術」も行っています。ロボット支援手術の利点である、先端が曲がるピンセットやハサミを用いると、より簡便に行えると考えています。

当センターでは、患者さんのご要望に合わせて術式を選択できますので、お気軽にご相談ください。

### ■ 比較試験の実施

当センターは、Stage Iの胃がんの患者さんを対象に「前向き研究」（群分けし将来にわたり追跡を続け、疾病などを比較する研究）により「単孔式腹腔鏡下胃切除術」と「腹腔鏡下胃切除術」を比較し、前者の方が術後の痛みや合併症が少ないと証明し8月に国際学会雑誌『Surgical Endoscopy』に掲載されました。

これは、「後ろ向き研究」（条件が揃わず結果が不十分とされる過去の症例を分析した研究）でしか報告されなかった「単孔式腹腔鏡下胃切除術」の有用性を、「前向き研究」で証明した世界初の論文です。安静時や運動時に“どのあたりに痛みがあるか”など、さまざまな因子を調べたことが高く評価されました。

### ■ 高度な技術を要する「単孔式腹腔鏡下手術」

「単孔式」は主にがん以外の病気（胆石や虫垂炎）に行われる術式で胃がんの実施報告が少なく、1カ所の穴からの手術は、手元の手術道具同士がぶつかり動作範囲が制限され、高度な技術が要求されるため、どの医療機関でもできるわけではありません。当センターでは、腹腔鏡・手術道具の配置を細やかに設定し、道具同士がぶつからない独自の方法を確立し、海外書籍で紹介しています。

## 公式ホームページ、Facebook で最新情報を取得できます

当センターでは、公式ホームページのほか、Facebook でもクラシック音楽会やアピランスケアなどのイベントや講演会といった最新の情報を発信しております。ぜひご覧ください。

### ● ホームページ

中央の「お知らせ」や、各種パネルより(例、成人病公開講座／AYA 世代サポートチーム／痔がん教室／がんゲノム医療／特別病室のご案内など)、ご興味があるトピックをぜひご覧ください。

また、下方「センター広報誌 OICI だより」のアイコンからは、当誌『OICI だより』の最新号から過去号までを閲覧いただけます。



### ● Facebook

公式ホームページでは紹介しきれないタイムリーな情報をお届けしています。今後とも、さらなる有益な情報をお届けできるよう力を入れてまいりますので、皆さまからの心温かい「いいね」や「シェア」を、引き続きお待ちしております。



## はい、こちら「がん相談支援センター」です

がん相談支援センター 中村 仁美

【file 005】

### 正しいがん情報の探し方

インターネットの発展に伴い、病気のことを気軽に簡単に調べることができるようになりましたが、中には根拠の乏しいものがあり『いつの情報か』『誰が発信しているのか』『何を根拠にしているのか』など、がん治療の「正しい情報」を判断する力が必要になります。あなたの身体の状態に最も適した治療法や、療養生活の情報を一番多く持つのは担当医です。担当医とよく話し合ったうえで、ご自身で情報を得る際は、がんの診断・治療方法・病院検索・制度やサービスなど、さまざまな情報を調べることができる、国立がん研究センターがん対策研究所の『がん情報サービス』をまずご参照ください。ここでは、がん情報を探するときの10のポイントをご紹介しますのでご活用ください。

- ①情報は"力"。あなたの療養を左右することがあります。活用しましょう。
- ②あなたにとって、いま必要な情報は何か、考えてみましょう。
- ③あなたの情報を一番多く持つのは主治医。よく話してみましょう。
- ④別の医師の意見を聞く「セカンドオピニオン」を活用しましょう。
- ⑤医師以外の医療スタッフにも相談してみましょう。
- ⑥がん拠点病院の相談支援センターなど、質問できる窓口を利用しましょう。
- ⑦インターネットを活用しましょう。
- ⑧手に入れた情報が本当に正しいかどうか、考えてみましょう。
- ⑨健康食品や補完代替医療は、利用する前によく考えましょう。
- ⑩得られた情報をもとに行動する前に、周囲の意見を聞きましょう。

★出典：「がん情報さがしの10カ条」  
国立がん研究センター がん対策情報センター（現：がん対策研究所）

何か不明な点があれば、  
お気軽に  
**がん相談支援センター**  
までお声がけください。



「がん情報サービス」  
国立がん研究センター がん対策研究所  
<https://ganjoho.jp/public/index.html>

### ♥ 面談（対面での相談）

病院 1 階 ⑥ 窓口 相談支援センター受付でお申し出ください

相談受付時間：月～金曜日（祝日・年末年始を除く）午前9時～午後5時

### ♥ がん相談ホットライン

☎ 06-6945-1870（直通）

電話対応時間：月～金曜日（祝日・年末年始を除く）午前10時～午後4時

## ご寄付について

### 寄付者ご芳名

2021年10月～2021年12月

受領日順／ご希望者のみ掲載

倉田 邦男様、柳田 榮様、前畠 秋實様、佐藤 勇様、谷川 英子様、  
株式会社ヨコタ商店 代表取締役 根木 淳成様、株式会社ヨコタ技研 代表取締役 横田 翔子様、  
王 佳寧様、平尾 和雄様、松本 忠之様、黒原 正様、濱口 安孝様、奥崎 義男様、津田 泰秀様、  
高瀬 多恵子様、舩木 幹雄様、高野 隆様、高野 晴美様、柏 之雄様 匿名者 21名

このたびもさまざまな個人や法人の方々から、貴重なご寄付を頂きました。ありがとうございます。  
この温かいお心遣いに感謝するとともに、このご厚意に報いるべく、これからも患者さんにより良い  
医療とサービスを提供してまいります。

## ご寄付のお願い

当センターは、常に「患者さん目線」で治療に当たる病院でありたいと考えています。患者さんの療養環境の改善や充実した医療を提供していくため、皆さまからのご支援をお願いしています。頂いた貴重なご寄付は、医療の研究や機器の購入などに役立ててまいります。

皆さまのご支援を心よりお待ちしております。

お申し込み方法など詳細はホームページをご覧ください

<https://oici.jp/center/effort/donation/>



## OICIだより 2022年冬号〈季刊〉



特定機能病院 / 地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター

発行 大阪国際がんセンター

編集 事務局 総務・広報グループ

〒541-8567

大阪市中央区大手前 3-1-69

TEL.06-6945-1181 (代表)

2022年2月発行



### 大阪国際がんセンター

【提携駐車場】

★1…サイカパーク

★2…谷町筋地下駐車場

(入口は北向き1カ所のみ)



補助犬

OK

oici  
<https://oici.jp/>



※ QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

#### ◆電車でご来院の場合

Osaka Metro「谷町四丁目駅」北改札口から徒歩約5分/  
京阪電車「天満橋駅」東改札口から徒歩約10分

#### ◆お車でご来院の場合

東大阪線「法円坂出口」より約5分／東大阪線「森之宮出口」より約8分